

宮の空



学校教育目標

「豊かな学びとかかわりを通して、すべての子どもに、未来社会を自分らしく幸せに生きる力を育む」



宮小 学校便り

令和6年6月3日 第3号

佐世保市立宮小学校
校長 藤田 律子

一人一人が宝石のように輝き、お互いの輝きを認め合う



今年の運動会のスローガンは、「一人一人が宝石のようにかがやき、絆を深める運動会にしよう」でした。子どもたちは、このスローガンを実現するために、練習中に輝いていた友達を宝石のカードに書き、階段掲示板の宝箱に貼っていくという取組を考えました。練習の度に宝石は増えていき、宝箱は見る見るいっぱいになりました。学年を越えて認め合うことができた宮小の子どもたちは素晴らしいし、児童会の子どもたちのこの子どもらしいアイデアを、形にするために支えた職員にも感謝しています。

5月26日(日)の運動会では、すべての競技で全力を出し、キラキラと輝く子どもたちの姿が見られました。そして、学級、隣学年、赤組、白組で、絆を深めることができました。

保護者の皆様には、金曜日の会場設営から終了時の片付けまでご協力いただきました。PTA競技でも、迅速な集合と役割分担のおかげで、大変スムーズに進行していただきました。ご理解とご協力に感謝いたします。



令和6年度「いのちかがやく強調月間」

令和6年度から、6月を、子どもたちがたくさんの笑顔とともに幸せと生きがいを感じて生きていくことをめざし、「いのちかがやく強調月間」として取り組むことになりました。私は、子どもたちがいのちを輝かせて自分らしく一生懸命生きるためには、『安心感の土台』が必要だと考えています。宮小学校では、この度、ランドデザインを一新しました。この『安心感の土台』を保護者、地域の皆さんと一緒に創っていきたいと考えています。

自他の命を大切に、いじめを許さず、人を思いやる心豊かな子どもを育てるためには、愛され、必要とされ、見守られていると実感させることが大切です。二度と子どもを被害者にも加害者にもしないために、私たちは心を尽くしていのちの大切さを伝えていきます。

ウェルビーイングな学校



安心感の土台

学校・家庭・地域
居場所 人間関係 愛情
体験 生活習慣 文化
安心・安全 愛着

6月行事予定

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1日(土)いのちを見つめる日、少年の日 | 17日~21日学校開放週間、水泳指導開始 |
| 4日(火)心の状況調査(5・6年) | 18日(火)4年生社会科見学 |
| 6日(木)体重測定(1・2・3年) | 19日(水)大雨対応の集団下校
第2回PTA評議員会 |
| 7日(金)プール清掃、心の状況調査(3・4年)
体重測定(4・5・6年) | 20日(木)道徳授業参観・懇談会 |
| 11日(火)心の状況調査(1・2年)
子どものための芸術鑑賞体験教室(5年) | 22日(土)いのちかがやく講演会(アルカス佐世保) |
| 13日(木)第1回学校保健委員会 | 24日(月)眼科検診(1年) |
| 15・16日(土・日)6年生学年レク、家庭の日 | 28日(金)6.29平和集会 |
| | 29日(土)佐世保空襲の日 |
| | 30日(日)4年生学年レク |

給水スタンド設置

熱中症対策として、2階廊下に給水スタンドが設置されました。水筒のお茶がなくなった場合に、水筒に給水することができます。(直接口飲みはできません。)



学校からのお知らせは「まなびポケット」で

PTA総会でお知らせした通り、学校からのお知らせは、紙ではなく「まなびポケット」で配信しています。欠席。遅刻等の連絡も「まなびポケット」でできます。ぜひ、ご活用ください。もし、不具合がありましたら、学校にお知らせください。



毛虫じゃないよ、ツマグロヒョウモン

児童玄関のプランターのパンジーに“毛虫”が発生しました。黒い体に赤い筋、赤いトゲトゲの毒々しい姿に、「子どもが毛虫に刺されたら大変!」と慌てました。どうしよう? 1匹1匹退治するには数が多すぎます。でも、殺虫剤をまいていいものか。いっそのことパンジーごと処分するか。でも、まだ蕾もついているのに可哀想。迷った末、安全な駆除の仕方を調べようとこの虫について検索してみると……、なんと、毛虫でも毒虫でもなく、ツマグロヒョウモンという蝶の幼虫であることがわかりました。そこで、給食中の放送で子どもたちに、蝶の幼虫で毒はないと知らせました。

すると、プランターの周りに、生き物好きの子どもたちが集まるようになりました。私も毎日一緒に観察しているうちに、なんだかかわいく見えてきたから不思議です。さなぎを見つけると、「いつ羽化して蝶になるんだろう。」と楽しみでした。残念ながら、彼らは夜中のうちに羽化して飛んでいってしまうようで、蝶にはなかなかお目にかかれなかったのですが、教室でケースに入れて飼育した子がいて、写真を撮ってしてくれました。

これがツマグロヒョウモンです。名前の通りにヒョウ柄の模様がとても綺麗。あの怖ろしい幼虫がこんな素敵な蝶になるなんて、生命の神秘を感じます。ああ、殺虫剤かけなくて本当によかった! やはり、見かけだけで安易に決めつけてはいけないなど、この蝶に教えられました。

